

脱炭素社会の実現に貢献する燃料電池トラック(FCV)をグループで初導入

ロジスティード株式会社(以下、当社)は、このたびグループ会社のロジスティード東日本株式会社(以下、ロジスティード東日本)が、燃料電池トラック(FCV)を当社グループで初めて導入しましたのでお知らせいたします。

当社グループは、「脱炭素社会への貢献」をマテリアリティのひとつと位置づけ、気候変動への対策および脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガス(CO2)排出量の削減やエネルギー利用の効率化に取り組んでいます。その中で、低燃費・低公害な環境対応車(エコカー)への代替を進めています。

今回導入したFCVは、水素と酸素を反応させて電気を起こす発電システムを搭載し、走行時にCO2を排出しないため、環境に配慮した次世代の車両として注目されているものです。当社およびロジスティード東日本が参画する「福島県での水素を活用した新たな未来のまちづくりのための社会実装」*において、FCVを実際の輸送業務に使用することで、水素燃料活用の可能性と実用性の検証に協力してまいります。

※ 本社会実装は、一部を国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業「グリーンイノベーション基金事業/スマートモビリティ社会の構築」として実施されています。当社においては、NEDOより交付決定を受けた Commercial Japan Partnership Technologies 株式会社(CJPT)からの業務委託により、FCV普及に向けたエネルギーマネジメントの研究開発の一環として、ディーゼル車での輸送をFCVに置き換えた場合のCO2削減量の把握や、水素充填タイミングの最適化のため、各種走行データを提供していく予定です。

■ 仕様

車種	3トンウイング車
航続距離	約 200km
水素充填量	約 10.5kg
充填時間	約 15分
充填回数	1回/日
充填場所	いわき鹿島水素ステーション (福島県いわき市)



ロジスティードグループは、CO2排出量を2030年度に50%削減(2013年度比)、2050年度のカーボンネットゼロをめざす「環境中長期目標」を策定し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

【お問い合わせ先】

ロジスティード(株) 広報部

TEL: 03-6263-2803